

公衆衛生審議会成人病難病対策部会  
難病対策専門委員会

今後の難病対策の具体的方向について（報告）

<抜粋>

平成9年9月8日

(略)

4 特定疾患治療研究事業の見直しについて

(略)

(3) 事業見直しのための選択肢

(略)

① 対象疾患の見直し

研究費の効率的な活用という観点から、対症療法の開発状況等を勘案し、希少性や難治性が相対的に低下したと思われる疾患の他の疾患との入れ替えを行うことが考えられる。

(略)

② 対象疾患における重症度基準の導入

対象事業としての観点からは、重症度の低い患者も対象として実態の把握に努める必要があるが、対症療法の開発に進歩が見られる一定の疾患については、重症度の高い患者のみを対象とすることや重症度に応じた患者負担率の設定等も考えられるところである。ただし、その実施のためには対象疾患における重症度基準の導入が不可欠であるため、今後、研究を進めるべき課題であると考えられる。

(以下略)